

# 長久手キャンパスに 国際交流会館が完成！

2013年10月、国際交流会館「アイハウス」が、長久手キャンパス内に新たに建設されました。今回の特集では、その施設概要や教員・学生インタビュー、同時に新設したAS保育室についても紹介します。

## 地域に、世界に 開かれた交流の 拠点をめざして

大学の理念「違いを共に生きる」を具現化する取り組みのひとつとして、本学は外国人留学生の受け入れを推進してきました。

1992年からは留学生別科を設け、日本語プログラムを展開。学部や大学院に在籍する留学生も合わせると毎年約50人の外国人留学生が共に学んでいます。彼らのキャンパスライフの拠点となるのが、International House——「アイハウス」の愛称で親しまれてきた留学生寮、「国際交流会館」です。

国際交流会館は、これまでは学外にありましたが、2013年10月、長久手キャンパス内に新設しました。延べ床面積約35

00㎡の3階建ての建物は、コンクリート造りながら「和」を感じさせる、あたたかみや落ち着きのある空間が広がっています。居住エリアの2、3階には居室53室や共同利用施設、さらに、本学を訪れる国内外からのゲストや留学生の家族、教職員が利用できるゲストルームを備えています。1階には、セミナー室やラウンジなどの研修施設を整備。多様な講座やイベントに活用できるスペースとなっています。

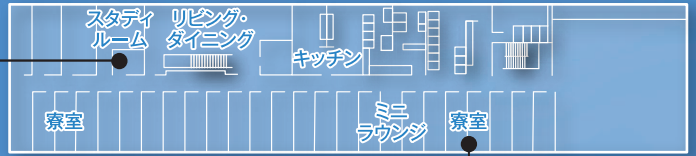
より多くの外国人留学生に快適な生活の場を提供し、さらに本学学生や地域の方々にも広く開かれた場所となるよう、施設・設備も一新した国際交流会館。ここで学内外のさまざまな人が交流し、互いに学び合って、「違いを共に生きる」をカタチにしていきたいと思います。



# Floor Guide 3F



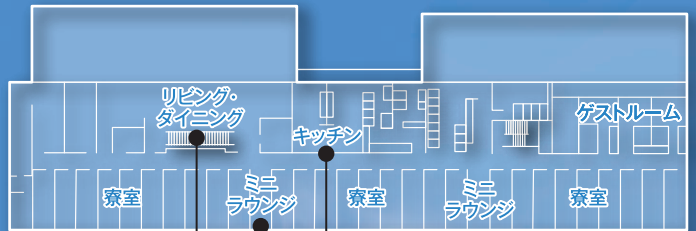
**スタディールーム** 留学生たちが自習に活用できるスタディールーム。



# 2F



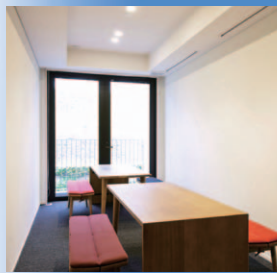
**寮室** 計53室ある寮室にはベッド、デスク、冷蔵庫、エアコンなどを完備。



# 1F

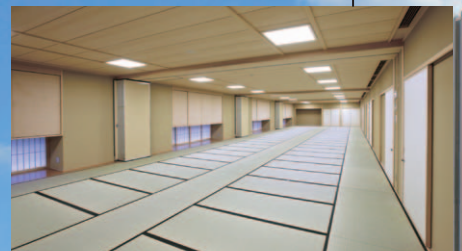
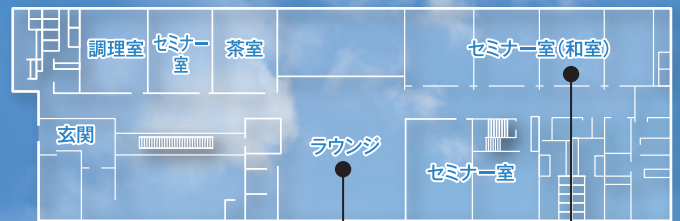
## ミニラウンジ

留学生たちが気軽に語り合えるよう、2階に2カ所、3階に1カ所のミニラウンジを設けています。



## リビング・ダイニング

2階と3階にあるリビング・ダイニング。テーブルやソファ、テレビが置かれ、くつろぎの場所となっています。



## セミナー室(和室)

4室のセミナー室(和室)は、ふすまを取り外すと最大105畳もの大空間になり、宿泊室としても活用できます。



## キッチン

留学生たちの自炊用として冷蔵庫、電子レンジ、炊飯器、トースターなどが備えられています。



## ラウンジ

グランドピアノが置かれ、64席ある開放的なラウンジは、自由度の高いスペース。

アイハウス・チューター

大学でイギリス留学、アメリカ留学を経験した私たちは、現地のホストファミリーが留学生の学びや人間的な成長の支えになることを実感しました。だからこそ、今度は支える側になりたいと考え、チューターになる決意をしました。約10カ国・20人以上の留学生と一緒に暮らす中で心がけているのは、一人ひとりの言葉、伝えたい思いに耳を澄ませること。彼らの多様な考えや気持ち、価値観を尊重しながら、コミュニケーションを深めていく経験は、実社会でも役立つと思います。

今後、私たちが主体となってアイハウスでのイベントを企画・実施していく予定です。学部を問わず多くの学生が参加し、学内で異文化交流がより楽しめるようになったらと願っています。

(写真左より)  
文学部 英文学科  
3年  
松崎優圭さん  
交流文化学部  
交流文化学科  
3年  
松野由美子さん



アイハウスでは多彩なイベントを開催!



留学生別科の修了パーティーが、1階ラウンジで行われました。



チューターの学生が企画したクリスマス会では、留学生同士の交流も深まりました。

多様な人や文化と出会い、まなざしを世界へ

外国人留学生にとって暮らしやすく、学びやすい場所になりたい。本学学生との交流も活性化させたい。こうした願いから国際交流会館「アイハウス」を長久手キャンパスの敷地内に建て、より多くの留学生の利用に配慮されるよう収容定員も拡充しました。さらに、



国際交流センター長  
中郷 慶

充実させたのは、セミナー室やラウンジです。国際交流センターの講座やイベントを実施し、学生たちが多文化共生の意義を肌で感じ、世界へ一歩を踏み出す起点になればと期待しています。また、2014年春からはエクステンションセンター主催の公開講座でも活用し、地域の皆様にも親しんでいただける施設となるよう努めてまいります。新しいアイハウスで多文化の交流を促進させ、「地域に根ざし、世界に開く」という本学の教育テーマを具現化していきたいと考えています。

国際交流会館横に、AS保育室も完成しました！ AS保育室

福祉と教育の両面を学ぶ実践の場としても充実

本学の教職員や学生・大学院生のお子さんを保育する施設である「AS保育室」も、国際交流会館と共に2013年10月に新設しました。木製遊具が備えられたのびやかなプレイルーム、季節の野菜や花々が育つ広い園庭などがつくられ、子どもたちの健やかな成長を支える施設となっています。また、AS保育室は、福祉貢献学部福祉貢献学科子ども福祉専攻で保育士・幼稚園教諭をめざす学生たちの学修・研究や実践の場としても活用されています。子どもとふれあえる場が学内にあり、恵まれた環境を活かし、「福祉マインド」を持った保育者・教育者が、より多く地域社会へと羽ばたいていくことでしょう。

